Creative Enzymes®

アスペルギルス・オリゼー由来リボヌクレアーゼT2、組換え

Cat. No. NATE-1930

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アスペルギルス・オリゼーリボヌクレアーゼT2は、さまざまな微生物、植物、動物種に存在するRNase T2ファミリーのエンドヌクレアーゼの一員です。アスペルギルス・オリゼーリボヌクレアーゼT1が特にグアニル酸特異的なエンドヌクレアーゼであるのに□し、すべてのRNase T2□酵素は本質的に塩基非特異的です。しかし、異なる種のRNase T2エンドヌクレアーゼはわずかな塩基の好みを示すことがあります。真菌酵素、特にアスペルギルス・オリゼーRNase T2は、次の順序でわずかな塩基の好みを示します：A>G>C, U。RNase T2は、1つの塩基の3'-リン酸残基と隣接するヌクレオチドの5'-OH残基の間を切断し、2', 3'-環状リン酸中間体を形成し、その後3'-リン酸残基を持つオリゴヌクレオチドを生成します。この酵素は、さまざまな用途で非哺乳類由来のRNaseとしても使用されます。
別名	リボヌクレアーゼ T2; RNase T2; リボヌクレアーゼ

製品情報

種	アスペルギルス・オリゼー
由来	ピキア・パストリス
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.27.1
分子量	36 kDa
活性	≥10,000 ユニット / mg タンパク質
等電点	5
最適pH	4.5
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 4.5で15分間に260 nmで1.0の吸光度の□加を引き起こします。

保管・発送情報

保存方法	2-8°Cで保管してください。
安定性	2-8°Cで12-18ヶ月間安定しています。